

# 教育研究活動報告書

ふりがな 氏 名	ながずみ たつき 長住 達樹	所属・職名	リハビリテーション学部・学科 理学療法学専攻・講師
専門領域	理学療法学、地域理学療法学	学位 称号	社会福祉学士 1999 (平 11.) 保健学修士 2005 (平 17.)
最終学歴	2005 (平 17.) 群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学分野 (博士前期過程) 修了		
資格・免許等	理学療法士免許		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	運動学、運動学実習、臨床運動学、理学療法評価学Ⅱ (各論)、理学療法評価学実習Ⅱ、		
教育方法の 実践例  教材の開発  教育改善活動等	<p>1. 教育方法の実践例として</p> <p>① 運動学では、教科書その他、参考資料として学生達が内容説明に集中して十分な理解ができるように、図を多用したビュメを準備した。本講義では、ビデオ教材なども多用し、正常から逸脱した動作 (異常動作) などを見学させながら、正常な身体動作を理解する意味と動作分析の重要性を促している。</p> <p>② 理学療法評価学実習Ⅱ (各論) では、評価技法についてムニバス形式で講義を実施。本講義では「徒手筋力検査法 (以下、MMT) 」を担当している。MMT 講義では、指定教科書のページ数が多いため、教科書を要約したビュメを作成した。さらに、筋力検査の具体的方法については、デモンストレーションを実施するとともに、作成したシートで検査手順を確認しながら実習できるように配慮している。</p>		
職務上の実績に関する事項			
<p>1. 佐賀県吉野ヶ里町特定高齢者介護予防教室「いきいき健康クラブ」企画指導員 (平成 19 年 7 月～現在) 吉野ヶ里町の地域虚弱高齢者に対する介護予防事業を実施している。本事業では、基礎体力の向上を目的に、軽体操やセラバンドによる筋力トレーニングを行っている。また、参加者には、生活習慣記録機 (ライフコーダ) を装着させ、日常生活における活動性向上を促している。</p> <p>2. 佐賀県理学療法士会 新人教育プログラム講師, 学術大会座長を担当 (平成 19 年 6 月～現在) 佐賀県理学療法士会活動において、平成 19 年以降は新人教育プログラムとして、テーマ: 理学療法士の専門領域 (平成 19 年) および、世界の理学療法 (平成 20 年、21 年、22 年)、社会の中の理学療法 (平成 23 年) を担当し、新人理学療法士に対する生涯学習の支援を行っている。また、平成 22 年 1 月には佐賀県理学療法士会学術大会 (第 4 セッション) 座長を務めた。</p> <p>3. 佐賀県社会福祉協議会主催 介護予防「運動器の機能向上」講師 (平成 20 年 2 月～平成 22 年 8 月) 佐賀県社会福祉協議会主催で、介護老人福祉施設や介護老人保健施設、保健センター等で勤務する介護職員に対する研修の講師を担った。研修では、高齢者の運動器機能向上を促進するために必要な運動の実技指導を行なった。</p> <p>4. 佐賀県みやき町「地域虚弱高齢者健康教室 (転倒予防教室)」講師 (平成 21 年 6 月～現在) 佐賀県みやき町主催で、地域在住高齢者を招集し、転倒事故を予防するための環境対策と身体機能向上の必要性について実技指導を含めながら説明した。</p>			

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
<学術論文>			
1. IT 機器（ライフコーダー）を活用した介護予防教室の試み	共 著	西九州リハビリテーション研究, 第1巻1号	2008年3月
2. 介護予防事業に参加した高齢者の日常的活動量ー認知機能低下群と健常群と比較ー	共 著	柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院紀要, Vol.4	2009年10月
3. 足関節背屈可動域の改善が片脚スクワット時のknee-in量の及ぼす影響	共 著	熊本県体育協会スポーツ医科学常任委員会・専門委員会紀要 No.25	2010年3月
4. 成長期児童の下肢柔軟性と体格との関係	共 著	理学療法科学 26(1):19-22, 2011	2010年7月
<学会発表>			
1. 運動の習慣化を目的とした介護予防教室の取り組み	共 同	第43回日本理学療法学会(福岡) 理学療法学 2008; 35: 609.	2008年5月
2. 年齢要因からみた介護予防教室実施期間の妥当性について	共 同	第64回日本体力医学会(新潟) 体力科学 2009; 58: 792.	2009年9月
3. 小学生の下肢柔軟性について	共 同	第64回日本体力医学会(新潟) 体力科学 2009; 58: 667.	2009年9月
4. 4方向リーチテストの臨床的特性について	共 同	第45回日本理学療法学会(岐阜) 理学療法学 2010; 37: 1335.	2010年5月
5. 弛緩時と収縮時の筋硬度の変化と筋力の関連について	共 同	第45回日本理学療法学会(岐阜) 理学療法学 2010; 37: 980.	2010年5月

研究助成等

特になし

学会及び社会における活動等

<所属学会>

日本理学療法士協会、日本医学教育学会、実践的グラウンデッド・セオリー (M-GTA) 研究会、日本健康教育学会、臨床歩行分析研究会

<社会活動>

1. 佐賀県理学療法士会 新人教育プログラム3「理学療法士の専門領域」講師 (平成19年6月)
2. 佐賀県社会福祉協議会「平成19年度介護予防『運動器の機能向上』研修会」講師 (平成20年2月)
3. 佐賀県社会福祉協議会「平成20年度介護予防『運動器の機能向上』研修会」講師 (平成20年8月)
4. 佐賀県理学療法士会 新人教育プログラム3「世界の理学療法」講師 (平成20年9月)
5. 佐賀県みやき町 地域虚弱高齢者健康教室「転倒予防教室」講師 (平成21年6月)
6. 佐賀県理学療法士会 新人教育プログラム3「世界の理学療法」講師 (平成21年6月)
7. 佐賀県社会福祉協議会「平成21年度介護予防『運動器の機能向上』研修会」講師 (平成21年9月)
8. 佐賀県理学療法士会学術大会 (第4セッション) 座長 (平成22年1月)
9. 佐賀県理学療法士会 新人教育プログラム3「世界の理学療法」講師 (平成22年7月)
10. 佐賀県みやき町 地域虚弱高齢者健康教室「転倒予防教室」講師 (平成22年8月)
11. 佐賀県社会福祉協議会「平成22年度介護予防『運動器の機能向上』研修会」講師 (平成22年8月)
12. 佐賀県みやき町 地域虚弱高齢者健康教室「転倒予防教室」講師 (平成23年6月)
13. 佐賀県理学療法士会 新人教育プログラム2「社会の中の理学療法」講師 (平成23年9月)
14. 社会福祉法人めぐみ厚生センター「介護技術 (移乗のポイント) について」講師 (平成23年11月)